

平成 31 年度 家庭科

教科	家庭	科目	子どもの発達と 保育	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	子どもの発達と保育 育つ・育てる・育ち合う (教育図書)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- 子どもの発達や保育に関心をもち、積極的に取り組みましょう
- ・乳幼児期に関する知識を身につけます。
  - ・実践的・体験的な学習を通して、理解を深め、確かな技術を身につけます。

2 学習の到達目標

子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得させ、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観 点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	子どもについての関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、子どもの発達や子育て支援に寄与していこうとする実践的な態度を身につけている。	子どもの発達をふまえ、現状について見直し、課題を見つけ、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	保育に関する基本的・基本的な技術を総合的に身に付けている。	子どもの発達の特性、生活と保育に関する知識を総合的に身に付けている。
評 価 方 法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習記録表 レポート、発表 自己評価 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習記録表 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 作品提出 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習記録表 レポート、発表 定期考査の結果 等
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

#### 4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	子どもの発達の特性	①生涯発達における乳幼児期の重要性 ②発達と環境 ③発達観・児童観とは	○	○		○	a:人間の発達について、自分自身の問題として考える姿勢を持っている。 b:人間の一生をライフサイクルとしてとらえ、人とかかわりがいかに大切かを認識している。 c:社会の人間観の変遷がそのまま児童観の変遷に反映されていることを例に挙げて示すことができる。 d:子どもを取り巻く環境にはさまざまなシステムがあることを理解し、そのかわりの大切さを理解している。	学習状況の観察 ノート、ワークシートの提出 定期考査
	子どもの発達過程	①身体発達と運動機能の発達 ②乳幼児期のからだの発達 ③乳幼児期の発達の特徴 ○子どもの発達を促す玩具製作	○ ○ ○	 ○ ○	  ○	○ ○	a:乳幼児の発育のめざましさに対して、驚きや知的な好奇心をもって学習に取り組んでいる。 b:発育の個人差を考えることができる。 c:発達の順序性、方向性について、具体例を挙げながら説明することができる。発達段階を踏まえて乳幼児の発育・発達を促す玩具を製作している。 d:新生児の反射運動について理解している。粗大運動、微細運動の発達過程について理解している。	学習状況の観察 ノート、ワークシートの提出 作品提出 定期考査

2学期		④人間関係の発達 ⑤心の発達 ○子どもと触れ合う実習	○  ○	○  ○	○  ○	○  ○	<p>a:心の発達過程の複雑さ、多様さに対して、驚きや知的好奇心をもって学習に取り組んでいる。</p> <p>b:乳幼児期の知的能力の発達、自我の芽生え、きょうだいや仲間関係でのさまざまな経験が、自己主張と自己抑制のバランスを学ぶことになるという認識をもち、自分の場合はどうであったかを思い描ける。</p> <p>c:保育実習において安全に配慮し、子どもと適切にかかわっている。保育実習の記録をまとめ、成果を発表している。</p> <p>d:発達の共通性と個人性(個人差)について理解している。発達の方向性と順序性について理解している。</p>	<p>学習状況の観察</p> <p>ノート、ワークシートの提出</p> <p>レポート提出</p> <p>発表</p> <p>定期考査</p>
	子どもの生活	①子どもの健康と生活 ○沐浴実習 ②子どもの食事 ○幼児食実習 ③子どもの衣服 ○幼児の衣服製作 ④子どもの遊びと生活 ○	○  ○  ○  ○	○  ○  ○  ○	○  ○  ○  ○	○  ○  ○  ○	<p>a:乳幼児の養護について、実際に自分が世話を行う立場になったときのことを考えながら、積極的に取り組んでいる。</p> <p>b:乳幼児期の栄養と食生活について、人の一生に影響する重要性に気づき、考えを深めている。子どもの衣服の役割について、大人と比較してどこに重きがおかれているか認識している。</p> <p>乳幼児期の基本的生活習慣や社会的な生活習慣の習得について、その意義や重要性を認識している。</p> <p>c:乳幼児期の養護の必要性や目的をふまえ、その発達段階に応じた適切な養護の方法や生活援助のための方法が選択できる。</p> <p>d:子どもの養護の必要性と目的について理解している。</p>	<p>学習状況の観察</p> <p>ノート、ワークシートの提出</p> <p>レポート提出</p> <p>作品提出</p> <p>定期考査</p>

3学期		⑤子どもの健康管理	○			○	<p>a: 保護者としてどのようにかわるのがよいか、理想像を考えながら学習する姿勢をもっている。</p> <p>b: 子どもの病気や異常の早期発見は保護者の日頃の観察が大切になるという認識をもっている。</p> <p>c: 子どもの病気の特徴を説明できる。子どもにおこりやすい事故を予測し、対策を説明することができる。</p> <p>d: 子どもの健康状態をみるときのポイントや病気の特徴、予防接種についての知識を身につけている。子どもに多い事故と応急処置の方法を理解している。</p>	<p>学習状況の観察</p> <p>ノート、ワークシートの提出</p> <p>定期考査</p>
	子どもの保育	<p>①保育の意義と目標</p> <p>②保育の方法</p> <p>③保育の環境</p>	○	○	○	○	<p>a: 子どもの保育に対する関心と課題意識を高めている。</p> <p>b: 子どもが「育つ」過程を理解する中で、子どもの成長の本質を考えることができる。</p> <p>c: 保育の現状と課題について、新聞やテレビ、その他の情報を調べるなどして、自分の意見をもつことができる。</p> <p>d: 保育の目標と保育者から子どもへの働きかけの重要性を理解している。家庭保育と集団保育の役割を理解している。</p>	<p>学習状況の観察</p> <p>ノート、ワークシートの提出</p> <p>レポート提出</p> <p>定期考査</p>
	子どもの福祉と子育て支援	<p>①子どもの福祉</p> <p>②子育て支援</p>	○	○		○	<p>a: 児童福祉の必要性について、具体的な問題を通して考えようとする姿勢がみられる。</p> <p>b: 児童福祉の理念がさまざまな制度に生かされていることを認識している。</p> <p>c: 子どもの幸福の実現に必要な児童福祉について、法律や制度の整備面から考察することができる。</p> <p>d: 児童福祉の理念と特徴を理解している。</p>	<p>学習状況の観察</p> <p>ノート、ワークシートの提出</p> <p>レポート提出</p> <p>定期考査</p>

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度      b:思考・判断・表現  
c:技能      d:知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。